



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月7日

上場会社名 わらべや日洋ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2918

URL <https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>

代表者 （役職名） 代表取締役社長

（氏名） 辻 英男

問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員

（氏名） 繪畑 将英 （TEL） 03-5363-7010

半期報告書提出予定日 2026年10月8日

配当支払開始予定日 2026年11月13日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	120,853	1.0	3,969	△25.0	4,203	△19.7	2,638	△34.1
2026年2月期中間期	119,634	5.3	5,289	24.3	5,237	13.5	4,000	42.5

（注）包括利益 2027年2月期中間期 3,439百万円（58.2%） 2026年2月期中間期 2,174百万円（△59.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	151.96	—
2026年2月期中間期	229.53	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	131,537	64,720	47.0
2026年2月期	131,735	62,131	45.1

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 61,797百万円 2026年2月期 59,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2027年2月期	—	60.00			
2027年2月期（予想）			—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,000	1.8	6,000	△19.4	6,050	△18.4	3,500	△34.5	201.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年2月期中間期	17,625,660株	2026年2月期	17,625,660株
2027年2月期中間期	218,478株	2026年2月期	309,778株
2027年2月期中間期	17,359,514株	2026年2月期中間期	17,430,068株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、前日までに当社ホームページに掲載いたします。(https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html)

・2026年10月8日(木)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかに回復しました。一方で、継続した物価上昇による消費者マインドの下振れへの影響や不安定な中東情勢、金融資本市場の変動リスクなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界では、原材料価格、労働コストや物流費の上昇に伴う商品価格の値上げが継続するなかで、先行きの不安などから消費者の節約志向が高まっており、厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は、1,208億5千3百万円（前年同期比12億1千8百万円、1.0%増）とほぼ前年同期並みとなりました。

利益面では、食品関連事業において原材料価格および労働コストの上昇に加え、札幌工場操業休止影響により、営業利益は39億6千9百万円（前年同期比13億2千万円、25.0%減）、経常利益は42億3百万円（前年同期比10億3千4百万円、19.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は26億3千8百万円（前年同期比13億6千2百万円、34.1%減）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

〔食品関連事業〕

売上高は、1,086億3千6百万円（前年同期比10億9千万円、1.0%増）とほぼ前年同期並みとなりました。一方、営業利益は、伊勢崎工場の収支が改善したものの、原材料価格および労働コストの上昇に加え、札幌工場操業休止影響により、37億2千9百万円（前年同期比12億2千万円、24.7%減）となりました。

〔食材関連事業〕

鶏加工品などの取扱高が増加したことなどにより、売上高は58億9千2百万円（前年同期比1億1千1百万円、1.9%増）となりました。一方、営業利益は、仕入価格の上昇影響などにより、1億4千7百万円（前年同期比1億4千2百万円、49.2%減）となりました。

〔物流関連事業〕

売上高は63億2千3百万円（前年同期比1千6百万円、0.3%増）、営業利益は5億3千8百万円（前年同期比4百万円、0.7%減）とほぼ前年同期並みとなりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて1億9千8百万円減少し、1,315億3千7百万円となりました。これは、売掛金が増加したものの、現金及び預金、商品及び製品が減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて27億8千7百万円減少し、668億1千6百万円となりました。これは、未払金が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて25億8千9百万円増加し、647億2千万円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上と配当金支払いの差引により利益剰余金が増加したことに加え、為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて36億4千1百万円減少し、67億3千7百万円となりました。

営業活動による資金の増加は50億7千6百万円（前年同期は86億2千8百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益（40億1千6百万円）、減価償却費（40億2千7百万円）によるものです。

投資活動による資金の減少は53億9千4百万円（前年同期は89億8百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（△48億2千2百万円）によるものです。

財務活動による資金の減少は34億5千6百万円（前年同期は10億2千1百万円の増加）となりました。これは、長期借入金の返済による支出（△13億9千5百万円）、リース債務の返済による支出（△10億3百万円）および配当金の支払額（△10億5千7百万円）によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2026年4月8日付「2026年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で発表した、2027年2月期通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年10月7日）公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,378	6,737
売掛金	19,244	23,344
商品及び製品	2,514	1,744
原材料及び貯蔵品	2,047	2,090
未収還付法人税等	—	39
その他	2,415	1,800
流動資産合計	36,601	35,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,414	90,987
減価償却累計額	△39,701	△41,890
建物及び構築物(純額)	49,713	49,096
機械装置及び運搬具	26,457	27,583
減価償却累計額	△18,046	△19,018
機械装置及び運搬具(純額)	8,410	8,564
土地	13,147	13,189
建設仮勘定	2,534	4,110
その他	17,250	17,103
減価償却累計額	△7,145	△7,755
その他(純額)	10,104	9,348
有形固定資産合計	83,910	84,308
無形固定資産		
その他	1,789	1,641
無形固定資産合計	1,789	1,641
投資その他の資産		
その他	9,436	9,834
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,433	9,831
固定資産合計	95,133	95,781
資産合計	131,735	131,537

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,489	12,299
1年内返済予定の長期借入金	3,430	9,013
未払金	11,461	8,850
未払法人税等	576	755
賞与引当金	1,595	1,528
その他	4,125	3,543
流動負債合計	31,678	35,992
固定負債		
長期借入金	22,064	15,456
リース債務	9,291	8,831
退職給付に係る負債	3,706	3,759
役員株式給付引当金	378	206
資産除去債務	1,615	1,572
その他	867	998
固定負債合計	37,925	30,824
負債合計	69,604	66,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,100	8,100
利益剰余金	40,103	41,685
自己株式	△730	△523
株主資本合計	55,523	57,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283	242
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	3,060	3,765
退職給付に係る調整累計額	546	478
その他の包括利益累計額合計	3,892	4,486
非支配株主持分	2,715	2,922
純資産合計	62,131	64,720
負債純資産合計	131,735	131,537

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	119,634	120,853
売上原価	96,132	97,837
売上総利益	23,501	23,016
販売費及び一般管理費	18,212	19,047
営業利益	5,289	3,969
営業外収益		
受取利息	28	53
受取配当金	325	341
受取賃貸料	103	108
持分法による投資利益	102	57
その他	106	139
営業外収益合計	667	701
営業外費用		
支払利息	196	165
固定資産除却損	121	15
賃貸収入原価	78	55
工場閉鎖費用	212	16
操業休止関連費用	—	177
その他	110	36
営業外費用合計	719	467
経常利益	5,237	4,203
特別利益		
資産除去債務戻入益	116	—
特別利益合計	116	—
特別損失		
減損損失	37	187
特別損失合計	37	187
税金等調整前中間純利益	5,316	4,016
法人税、住民税及び事業税	1,089	999
法人税等調整額	64	275
法人税等合計	1,153	1,274
中間純利益	4,162	2,741
非支配株主に帰属する中間純利益	161	103
親会社株主に帰属する中間純利益	4,000	2,638

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	4,162	2,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	△41
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△1,760	686
退職給付に係る調整額	△60	△68
持分法適用会社に対する持分相当額	△113	121
その他の包括利益合計	△1,988	698
中間包括利益	2,174	3,439
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,224	3,232
非支配株主に係る中間包括利益	△49	207

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,316	4,016
減価償却費	3,483	4,027
減損損失	37	187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△109	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	147	△67
受取利息及び受取配当金	△354	△395
支払利息	196	165
持分法による投資損益(△は益)	△102	△57
固定資産除却損	121	15
売上債権の増減額(△は増加)	△6,536	△4,060
棚卸資産の増減額(△は増加)	316	750
仕入債務の増減額(△は減少)	2,331	1,778
未払金の増減額(△は減少)	2,411	△1,189
その他	1,519	582
小計	8,779	5,752
利息及び配当金の受取額	354	395
利息の支払額	△141	△113
火災損失の支払額	—	△185
法人税等の支払額	△364	△772
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,628	5,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,953	△4,822
有形固定資産の売却による収入	25	—
無形固定資産の取得による支出	△106	△36
その他	125	△535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,908	△5,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,251	—
長期借入金の返済による支出	△967	△1,395
リース債務の返済による支出	△1,039	△1,003
配当金の支払額	△792	△1,057
その他	△430	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,021	△3,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	△389	133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	352	△3,641
現金及び現金同等物の期首残高	8,450	10,378
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,802	6,737

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結損益計 算書計上額 (注2)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計		
売上高						
外部顧客に対す る売上高	107,546	5,781	6,306	119,634	—	119,634
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	145	3,526	3,672	△3,672	—
計	107,546	5,926	9,833	123,306	△3,672	119,634
セグメント利益	4,950	289	542	5,782	△492	5,289

(注) 1. セグメント利益の調整額△492百万円には、セグメント間取引消去84百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△577百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結損益計 算書計上額 (注2)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計		
売上高						
外部顧客に対す る売上高	108,636	5,892	6,323	120,853	—	120,853
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	141	3,520	3,662	△3,662	—
計	108,636	6,034	9,844	124,515	△3,662	120,853
セグメント利益	3,729	147	538	4,415	△446	3,969

(注) 1. セグメント利益の調整額△446百万円には、セグメント間取引消去65百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△512百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	
日本	93,593	5,781	6,306	105,681
米国	13,953	—	—	13,953
顧客との契約から生じる収益	107,546	5,781	6,306	119,634
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	107,546	5,781	6,306	119,634

当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	
日本	95,122	5,892	6,323	107,339
米国	13,514	—	—	13,514
顧客との契約から生じる収益	108,636	5,892	6,323	120,853
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	108,636	5,892	6,323	120,853